「第３５回ボランティアつどい」報告
～みんなであつまんべや～

今年度の『ボランティアのつどい』は、和田地区の和田ふるさと館で開催しました。「和田であそぼう！」をキャッチフレーズに、日頃様々な分野で地域活動やボランティア活動をしている皆さんとともに、和田地区ならではの講演・体験とフィナーレをとおして交流しました。多数の方にご協力・ご参加いただきありがとうございました。

日時：平成 29 年２月 11 日（土・祝） 午前１０時～午後２時 30 分
場所：和田ふるさと館　和田公民館(バラッパまんじゅう作り)
参加者：約１２０名

オープニングのめいわ太鼓

講演会の様子

総合司会の住吉アキ子さん

プログラム

９：４５～　オープニング　めいわ太鼓
１０：１０　開会式
　開会宣言　佐倉市ボランティア連絡協議会会長　寺田 純子
　挨　　拶　佐倉市社会福祉協議会会長　左奈田 雄一
　来賓挨拶　佐倉市長　蕨 和雄 氏
１０：１５～１１：４５　講演会
　「和田のまちづくり　地域の活性化を学ぶ」
　✦和田地区社会福祉協議会
　✦和田地区のサロン事業
　✦ママのほっとタイム
１１：４５～１２：３０　昼食タイム（１階入口にて農産物販売）
１２：３０～１４：００　体験タ～イム！
　✦歴史民俗資料室館内ツアー
　✦バラッパまんじゅう作り（和田公民館）
　✦和田ふるさと館周辺の散策
１４：００～１４：２５　フィナーレ
　✦みんなで体をほぐしましょう！
１４：２５　閉会式
　挨　拶　第３５回ボランティアのつどい実行委員長
　　伊藤 千津子（個人ボランティア）

□協力をいただいた方々
社会福祉法人 愛光、和田地区社会福祉協議会、和田公民館、和田はたおり保存会、和田小学校ＰＴＡ民俗資料収集委員会、宝金剛寺、順天堂大学スポーツ健康科学部
イラスト：岡本 弥咲子、岡本 佑倫子、岡本 奏和子

主催：佐倉市ボランティア連絡協議会
共催：佐倉市社会福祉協議会
後援：佐倉市・佐倉市教育委員会
運営：第 35 回ボランティアのつどい実行委員会
　実行委員長：伊藤千津子（個人ボランティア）、副実行委員長：平澤 英人（花と緑の街づくり'22）
　委員：秋山 好子（手話サークル「希望」）、斎藤 美子（手話サークル「希望」）、
　岡本 崇広（こぶしリーダースクラブ）、堤 陽子（ほっとくらぶ）、久末 郁子（ほっとくらぶ）、
　飛田 陽子（ほっとくらぶ）、住吉 アキ子（個人ボランティア）、柳村 篤史（社会福祉法人 愛光）、
　石渡 典子（南部ボランティアセンター）　※敬称略

講演会

和田地区社協・ボランティア団体の活動紹介をとおして、地域の活性化を学ぶ講演会

✦和田地区社会福祉協議会（発表者：小出 孝二さん・羽根井 禎敏さん）

〇和田地域の概要・特徴

・高齢化率が 35.3%と市（29%）に比べ高齢化が進んでいる。
・70・80 歳は、ここでは現役。
・かつては農業中心だったが、現在は兼業で勤めが中心。
・市街化調整区域で新しい住民が入ってこない反面、顔見知りの関係があり自然が破壊されていないなどの良い面もある。
・地域の中心は、和田ふるさと館や公民館があるこの地域。
・無形文化財に獅子舞、上勝田の盆綱などがある。

小出 孝二さん

〇和田地区社会福祉協議会

・地区社協の福祉委員は 63 名。６事業部で活動。
・支え合いサービスは、平成 29 年度から始める予定で準備中。「和田すけ 60 分サービス」という名称で、日常の生活（庭の草取りや樹木の剪定、水やりなど）支援、サポーターとコーディネーターを募集中。
・買い物支援として、和田と弥富で愛光の協力によるバス運行を検討中。

羽根井 禎敏さん

〇地域サロン活動

・現在、健康づくり「八木女子会」、「宮本元気クラブ」、「ことぶきサロン高崎」の３か所で活動を実施。
・平成 25 年、福祉委員に３人の女性がいたことから、作りやすい やりやすい八木からスタート。女性は家の中の用事が多く、外に出る機会が少ないことから、気軽に集まる場所として計画。年に２回から、３回、４回と広がってきた。健康づくりがメインだが、食事づくりや「犬供養」と一緒の地域行事も行っている。

✦ママのほっとタイム 和田地区社協子育て支援サークル：（発表者：路野 富子さん、髙梨 直子さん）

路野 富子さん

髙梨 直子さん

・南部地域での子育ての集まりが無くなることから、集まる場所として計画。ママ同士、気軽に集まることができ、子育ての悩み、アドバイスができる場。
・孤立した親子を対象。和田だけでなく南部保健センターに来ている人も対象とした。
・２か月児から２歳児まで、午前中、集まるも自由・帰るも自由から始まる。その後、対象など広げる。公民館・ふるさと館を会場に、10 名で支援、15 組が参加。４か月間で立ち上げた。和田地区社協の支援のおかげ。
・平成 23 年の年８回から平成 27 年は 12 回開催。延べで 293 名の方が参加された。
・お母さんたちの要望で腰痛体操などのストレッチも取り入れている。
・課題は①出生減少にて参加者が減少（今年度は子どもが４人生まれた）②駐車場が遠い（和田ふるさと館から和田公民館まで赤ちゃんを連れて荷物が多い、天候が悪いと移動が大変）③活動資金・ボランティア（特に若い方）の募集など。

講演会の様子

食事タイム　ミニ牛丼弁当とスープを 300 円で予約販売しました。

入口付近で農産品の直売

昼食の様子・和気あいあいと交流♪

体験タ～イム！

① 歴史民俗資料室 館内ツアー

- 参加者：約 10 名。後半にはバラッパまんじゅう作りの体験者もはたおり体験に加わり、２０名程が体験しました。
- 和田公民館の遠藤正久さんにより、和田地域や昔話（民話）やかつて和田地域で使われて農機具類などの説明をいただきました。
- 和田はたおり保存会のみなさんのご指導のもと、糸つむぎとはたおり体験をしました。小学生の参加もありました。

② バラッパまんじゅう作り　（和田公民館）

- 場所：和田公民館
  参加者：約 20 名
- バラッパまんじゅうはみそ風味のあんこ入り蒸しまんじゅう。バラッパ（サルトリイバラの葉）は６月中旬に採取した若葉を塩漬けしたものを地域の方に分けていただきました。
- 事前に作り方の講習を行うなどの準備をして、当日は実行委員のほっとくらぶのメンバーが中心となって作り、つどい参加者にもふるまわれました。

③ 和田ふるさと館周辺の散策

- コース：和田ふるさと館～宝金剛寺
  参加者：約２５名
- 春の気配を感じる青空のなか、ゆっくり歩いて２０分ほどの宝金剛寺へ向かい、住職京極勇剛さんのお話を伺いました。来賓挨拶で蕨市長が書いたとおっしゃった寺の門柱、平成 20 年に建て直された立派な本堂、大切に保管されてきた古文書なども見学しました。

フィナーレ

✦みんなで体をほぐしましょう！✦

順天堂大学スポーツ健康科学部３年生の２名の学生さんと松山先生の指揮のもと、参加者全員でボール運び・リレー競技・座って足でボールを運ぶゲームなどをしました。

✦閉会挨拶✦　第 35 回ボランティアのつどい実行委員長　伊藤 千津子

参加者の感想・意見

アンケート報告（回収枚数：17 枚）

１．講演会・体験タ～イム・フィナーレは、どうでしたか？

項目		良かった	まあまあ良かった
講演会		12	2
体験タ～イム	館内ツアー	3	1
	まんじゅう	3	2
	散策	9	1
フィナーレ		9	1

２．今回のつどいについて、ご意見・ご感想・ご要望をお願いします。

・和田の皆さんがそれぞれ楽しそうに活動していらっしゃることが良く分かりました。地区別に開催できたことは良かったと思います。
・和田地区のことを知ってもらうことを目的とし内容はとても濃かった。この場所で開催できたのでとても良かったと思う。お昼休みに特産物販売がありうれしかった。最後まで参加できず残念！楽しい講演会でした。
・和田地区社協の幅広い活動を知りました。市長の話も良かった。会の進行も良かった。
・サークル、協議会等の立ち上げ経過が分かりよかった。女子力が上がりますが、高齢の男子力が不足しています。今後は男子力の参加が望まれる。
・初めての参加でした。和田地区の歴史や活動内容が良くわかりました。散策楽しかったです。
・外に行けたのは楽しかったです。フィナーレのゲームも良かったです。
・孫と一緒に参加しました。久しぶりに体を動かし少々疲れました。おまんじゅうはおいしかったです。あまりよく知らない和田でしたが楽しかったです。

３．次回のつどいは志津コミュニティセンターにて開催します。ご意見・ご要望等をお願いします。

・各地区社協の役員にも声をかけ参加を呼ぶべきものと思われる。
・手話通訳時、電気を消すと分かりにくいです。
・参加型はいいですね。地区・地域の特徴ある活動を知ることも参考になってよい。
・紹介する女子チームは今日のような地味な活動しているチームが良い。
・今年のフェスタはどうなるか分からないので、グループの活動資金がかせげるようにバザーなどもやって欲しいと思う。

４．つどい開催時間で参加しやすい時間は？　→　→　→

時間帯	回答数	備考
午前のみ	2	
午後のみ	1	13 時～17 時希望
10 時～15 時	8	